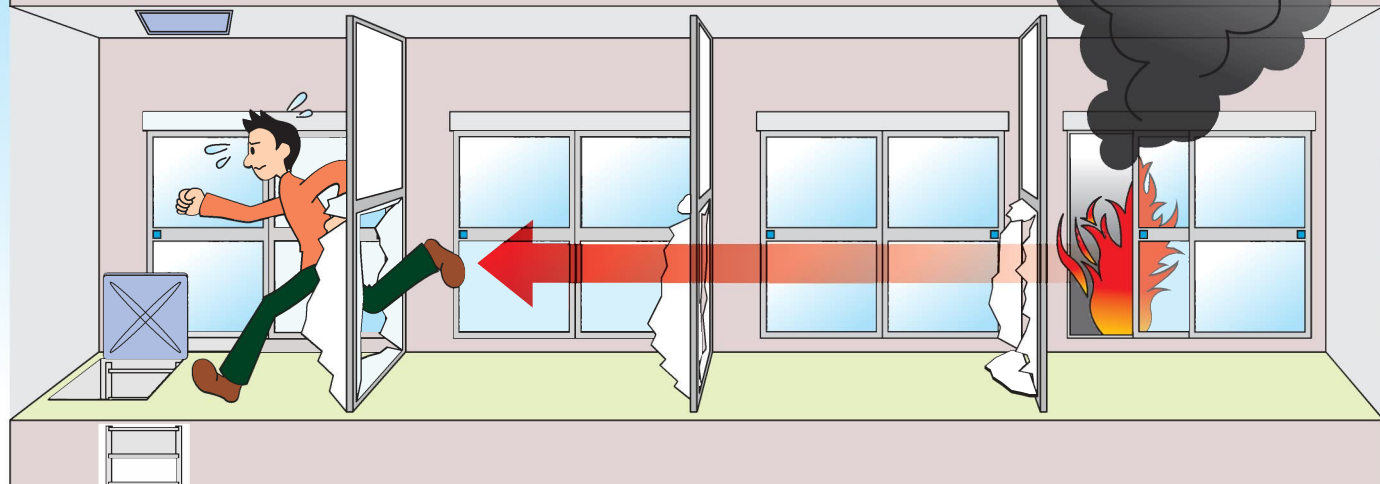
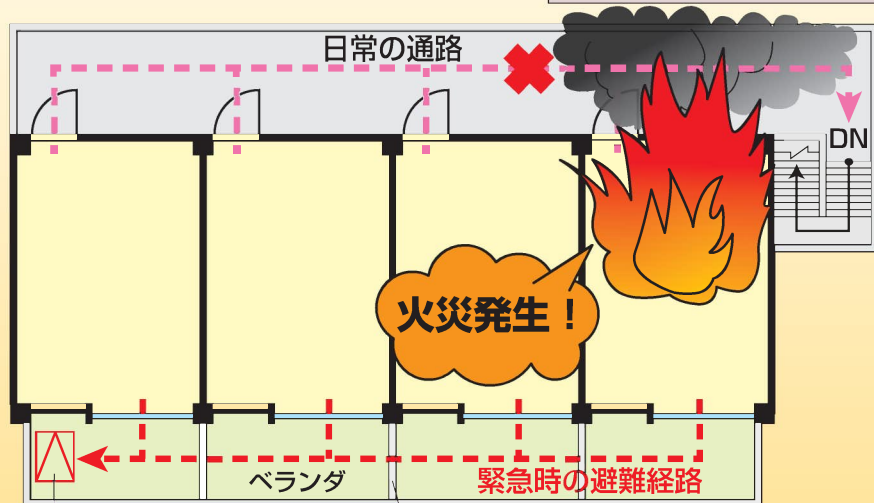
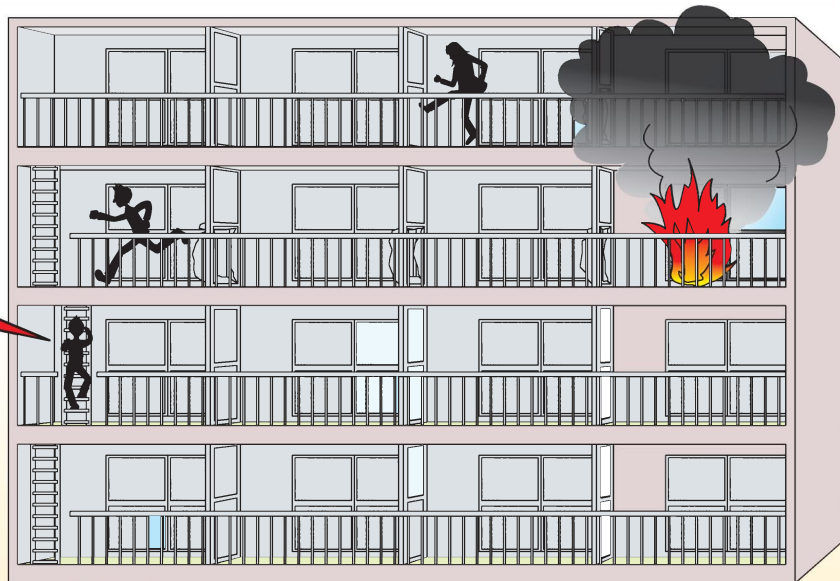


～アパート・マンションにお住まいの方へ～ 万が一に備えて、日頃から避難経路を確認しましょう！

いざという時、ベランダは避難経路になります。仕切板を破ることで隣のベランダに避難でき、同じ階に設置されている避難はしごを使って下の階に避難できます。



避難はしご



避難はしご

容易に破壊できる仕切板

階段や通路などに避難の障害となる物品や可燃物を放置しないこと。(放火されない環境づくりも大切です。)

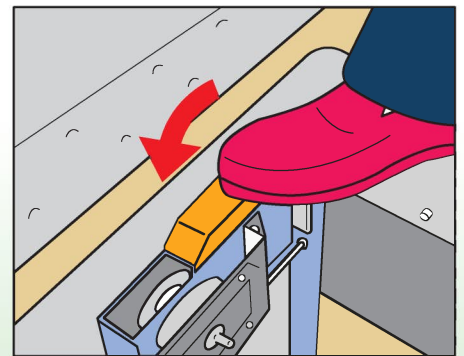
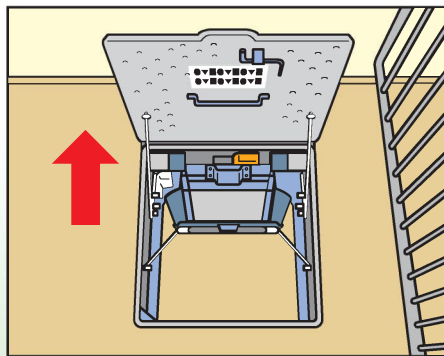
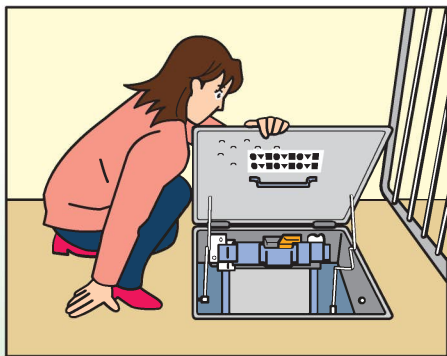
名古屋市消防局

ベランダの管理



いざという時、自分だけでなく、他の住民の方の避難経路となります。避難の障害となる物品や可燃物を置かないようにしましょう。

避難はしご(避難器具)の使い方



- ① 蓋を90度以上開放する
- ② 下の階の安全をよく確かめる (下の階に声をかける)
- ③ はしごを降ろし避難する (機種ごとに操作方法が違います※)

※避難はしごには、蓋を開けるとはしごが伸びるタイプ、ステップを踏んで伸ばすタイプ、ロックピンをはずすとはしごが伸びるタイプがあります。

●ご不明な点は下記の各消防署予防課までお問い合わせください。

千種消防署	764-0119	東消防署	935-0119	北消防署	981-0119	西消防署	521-0119
中村消防署	481-0119	中消防署	231-0119	昭和消防署	841-0119	瑞穂消防署	852-0119
熱田消防署	671-0119	中川消防署	363-0119	港消防署	661-0119	南消防署	825-0119
守山消防署	791-0119	緑消防署	896-0119	名東消防署	703-0119	天白消防署	801-0119